

## 目標達成計画

作成日：平成25年2月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.37	・災害対策 火災や地震、水害など有事の際の避難誘導時には、地域住民の協力が不可欠であるが、地域住民参加型の訓練を行えていない。	避難誘導訓練時には参加協力を依頼し、地域住民参加型の訓練を行い入居者の状態や避難経路を伝える必要がある。	地域運営推進会議にて、訓練の参加の必要性を伝え参加協力を依頼し、年2回訓練連を行う。自治委員は毎年交代される為、継続して行っていく。近所の方には、毎回呼びかけ行う。	6ヶ月
2	No.6	身体拘束の対象になる内容については十分に理解しているが、玄関の施錠をしない工夫のあり方について今一度検討する必要がある。	入居者の方の状態にあわせて玄関の施錠はしないようにする。	入居者の方が落ち着かれてある時は、玄関のドアを連続開錠にしておく。また、開錠時は動かれる方の所在確認を常時スタッフは行っておく。	6ヶ月
3	No.8	権利擁護に関する制度について家族に制度について説明したり、ホームの目につく所にパンフレット等を置いたりする必要がある。	昨年度、研修をしていない為、まずは全スタッフ権利擁護について学ぶ機会を持つ。	地域運営推進会議にて市役所からの出前講座を活用し、家族、地域の方と共に学ぶ機会を作る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注)完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。